

【西区】令和5年第2回区づくり推進横浜市会議員会議

令和5年6月12日(月) 15時30分開始
西区役所3階3B会議室

次 第

1 開 会

2 座長の選出

3 議 題

- (1) 令和5年度 西区運営方針について
- (2) 令和5年度 西区主要事業の進捗状況について
 - ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進
 - イ 区制80周年記念事業
 - ウ 高齢者あんしん生活サポート事業
 - エ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業
 - オ 子育て支援の推進
 - カ 地域連携推進・回遊性向上事業
 - キ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業
 - ク スポーツ振興事業
 - ケ 西区ヨコハマ3R夢推進事業
 - コ 地域防災活動推進事業
- (3) 西区に係る予算のすがた
- (4) デジタル区役所の取組

【参考】西区における開発動向等

4 会議報告書の作成

5 閉 会

3 - 令和5年度 西区運営方針

I 基本目標

つながりを大切に

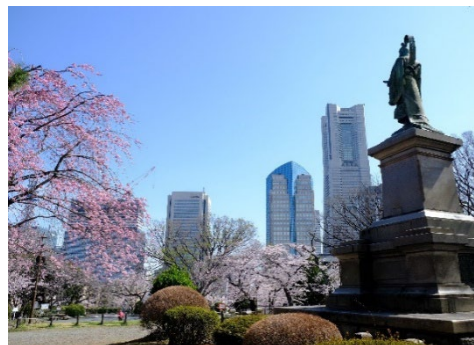
誰もがにこやかしあわせにくらせるまち 西区へ

新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ対策を継続的に進めるとともに、西区の総合的な計画である「にこやか しあわせくらしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画、愛称:にこまちプラン)の第4期計画と地域包括ケアシステムの構築に向けた「西区アクションプラン」を一体的に推進していきます。

また、「横浜市中期計画 2022～2025」において、「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」が基本戦略に掲げられたことを踏まえ、子育て支援と、あらゆる世代の皆さまへのサービス向上に向けて、各事業を進めていきます。

あわせて、デジタル化の取組をはじめ、様々なことに強く前を向いて挑戦していきます。

さらに、区制80周年となる令和6年に向けて機運醸成に取り組み、一層のつながりの強化を図っていきます。



掃部山公園から望むみなとみらいの風景

II 目標達成に向けた施策

1 地域のつながりづくり

2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

～施策にまたがる共通目標～

子育て支援と
あらゆる世代の皆さまへの
サービス向上

デジタル技術の活用による
つながりの強化

3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり

4 安全・安心なまちづくり

区制80周年に向けた機運醸成

III 目標達成に向けた組織運営 ～区民の皆さまに寄り添う区役所づくり～

1 お客様の立場に立った窓口サービスの提供

区民の皆さまを笑顔とあいさつで温かくお迎えます。傾聴を第一に、丁寧で分かりやすい説明を心がけ、正確で的確なサービスを提供するとともに、適切に業務を行います。

西区のマスコットキャラクター
「にしまろちゃん」



2 デジタル区役所の実現に向けた挑戦

デジタル区役所のモデル区として、区民ニーズやデータ等を踏まえながら、マイナンバーカードやスマートフォン等、デジタル技術の活用による区民向けサービスの利便性向上や業務効率化に向けた取組を更に進めます。取り組むにあたっては、つながりを大切に、誰一人取り残さず進めていきます。

3 『チーム西区役所』の強化

人材育成や風通しのよい職場づくりに加えて、チームイノベーションを創出する職場環境の実現と働き方改革を進めるとともに、歳出見直しに向けて取り組みます。また、各課の連携を強め、『チーム西区役所』として総合力を発揮し、区民満足度の向上に努めます。

主な事業・取組については、次ページをご覧ください⇒

地域のつながりづくり

1 「にこまちプラン」を推進し、地域の皆さまとともに課題解決に取り組みます

- ・地域活動を関係機関と協働で支援するなど、「にこまちプラン」を着実に推進していきます。
- ・地区別計画の取組発表等を中心にした「にこまちフォーラム」を開催し、活動の情報やノウハウを共有して活動の充実につなげます。
- ・小学校の総合学習の時間等を活用し、児童を対象とした「にこまちプラン」の周知を進めるとともに、SNS 等による広報・啓発に取り組みます。



にこまちフォーラム

2 地域活動を支援し、協働によるまちづくりを進めます

- ・区民利用施設を活用した ICT ツールの利用促進や、地域における ICT 支援の核となる人材の発掘・育成など、地域活動の活性化に向けた取組を進めます。

3 「学び」の機会や実践する場をつくとともに、地域の「つながり」の輪を広げる支援を行います

- ・歴史や文化など、あらゆる視点から西区の魅力を再発見できる取組を実施し、地域への関心を持つきっかけづくりを行います。また、地域の方々の知識や経験などを活用できる機会とし、西区全体の継続的な地域活動へつなげます。

4 令和6年の区制80周年に向け、区民・企業・団体・区役所が一体となって、周年を祝う取組を展開し、更なる地域のつながりの強化・賑わいの創出に取り組みます

- ・周年を契機として、区民の皆さまの地域への愛着を深め、地域のにぎわいにつなげていくため、広報・プロモーションによる機運醸成や関連団体との連携等について、西区制80周年記念事業実行委員会において、検討・実施していきます。



西区制80周年全体会

いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

1 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援を行います

- ・「プレパパママクラス」の休日開催や、「赤ちゃん教室」等の実施により、子育て家庭が地域で孤立することなく子どもを産み育てられるよう、妊娠期から出産後までの子育てを支援します。
- ・幼稚園・保育園や地域子育て支援拠点など子育て関連施設が連携し、地域の会場に向いて育児講座を行うなど、安心して子育てができる地域づくりに取り組みます。



プレパパママクラスの様子

2 高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう取り組みます

- ・高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けた「西区アクションプラン」を推進するとともに、介護や在宅療養に関する啓発を行います。
- ・幅広い世代に向けて認知症サポーター養成講座等を実施するほか、「ころぼんよ体操」を活用した、区民の健康づくり等に取り組みます。

3 障害のある人も住みやすい環境づくりを進めます

- ・地域防災拠点訓練等を通じて、障害者に対する災害時の支援や配慮についての理解を進めます。また、イベントや広報媒体等を通じて、幅広い区民に障害への理解を深める取組を進めます。
- ・電源を要する医療的ケアが必要な方が、災害時に充電できるように地域防災拠点に新たに発電機を配付するなど、災害時の備えを進める支援をします。



障害者施設利用者の作品展示

- ・障害者等の自立に向けて実際の一人暮らしを体験できる場を提供するとともに、ニーズ把握等を行います。

4 健康づくり啓発や健康情報の発信に取り組みます

- ・生活習慣病の予防の取組のほか、デジタルツールを活用した健康情報の発信を行い、若い時期から区民が自ら健康づくりの取組を行うきっかけを提供します。

まちの回遊性向上とにぎわいづくり

1 地域資源を活用して、回遊性向上に取り組めます

- ・2027年国際園芸博覧会の機運醸成も併せ、ガーデンネックレス横浜や、花と緑や史跡等をはじめとした地域資源、ガイド情報誌やまち歩きルート「温故知新のみち」を活用し、区内の回遊を促進します。

2 商店街等と連携したイベントを実施し、地域経済の活性化を図ります

- ・商店街を巡るスタンプラリーをデジタルスタンプラリー併用にて開催し、商店街の振興と誘客促進を進めます。
- ・西区の商店街等にある店舗を紹介する冊子を新たに作成し、区民・来街者に配布することで、まちのにぎわいを創出します。



商店街デジタルスタンプラリー

3 西区民まつりを通じて、地域の活性化を図ります

- ・コロナ禍前の形態に戻すとともに、さらに、顔の見える関係づくりや情報発信の機会を増やすことで、地域の交流や活動の活性化を図ります。

4 伝統文化に触れあう機会を創出し、地域交流を促進します

- ・「西区虫の音を聞く会」、「横浜かもんやま能」及び「西区キャンドルアート」等のイベントについて、従来の開催形態を踏まえた開催方法を検討し、地域の伝統文化に触れる機会を提供します。

5 身近な場所でスポーツに親しめる機会をつくります

- ・スポーツを体験する場(インクルーシブスポーツ含む)を提供することで、区民のスポーツへの関心を高めるほか、ウォーキングイベントを通じて、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の健康づくりを推進します。

6 まちの緑化を通じて地域のつながりづくりを進めます

- ・潤い空間づくりを進めるため、地域の団体や区内の小中学校等と協働しながら、公園や学校の花壇への花苗植えを行うとともに、藤の花の再生に向けた取組を SNS 等により情報発信し、地域のにぎわい活性化を目指します。

7 区内の企業・団体と連携し、地域課題解決やSDGsの推進を図ります

- ・神奈川大学との連携推進協定の元、地域課題解決に向けた一層の連携強化を図ります。
- ・区内の企業・団体と連携しながら、次世代を対象とした参加型取組やパネル展等を実施し、SDGs 達成に向けた意識醸成を図ります。



にしく「わたしの大切にしたいSDGs」展

8 多様な手段を活用し、広報機能を充実します

- ・誰もが手軽に情報を入手できるよう、広報印刷物のデジタル化・多言語化や、西区 YouTube チャンネル及び SNS 等を活用した情報発信の更なる強化を図ります。

安全・安心なまちづくり

1 地域・区本部の防災機能の強化とともに、自助・共助の取組を進めます

- ・地域防災拠点における防災訓練支援等を行うとともに、区本部において災害を想定した各種訓練を行うほか、デジタル技術を活用した区本部運営の円滑化と効果的な情報伝達を図ります。また、みなとみらい本町小学校において、補足的避難場所の開設訓練を実施します。
- ・感震ブレーカーや初期消火器具の設置を推進するとともに、崖地に関する相談会を実施し、風水害への対策を強化します。
- ・関東大震災から100年を契機として、防災に関する啓発パネル展をはじめとして、次世代を対象とした防災セミナー等を実施します。



平沼小学校地域防災拠点訓練の様子

2 地域の交通安全対策や防犯力の強化に向けた取組を推進します

- ・子ども達の安全を確保するため、関係機関と連携したスクールゾーン対策の実施や、交通安全教室を開催します。
- ・犯罪発生情報等の情報発信に加え、地域と連携した防犯パトロールの実施や特殊詐欺及び子どもの防犯対策のため、青色パトロール活動を実施します。



子ども向け出前講座(環境学習)

3 体験講座や清掃活動等を通じて環境問題に取り組めます

- ・企業と連携し、ごみの発生抑制やプラスチック対策、食品ロスの削減などの啓発活動を行います。また、小学生を対象とした「環境学習」では、理解度を高める体験型リサイクル講座や時間、場所の制約の少ないオンライン講座など幅広いメニューで実施します。
- ・「清潔できれいな街づくり」を推進するため、地域の皆さまや学校・企業等と連携した清掃活動を実施します。

区民の皆さまに寄り添う区役所を目指して

総務課

チーム西区役所を支えます。快適で親しみやすい区役所づくりを推進するとともに、自助・共助の活動支援や各種訓練等により災害対応力の強化に取り組みます。また、選挙事務や統計調査を適正に進めます。

税務課

次世代へとつながる横浜市の将来を見据え、行政運営の主要な財源である市税業務において、公平・適正な賦課業務を行います。また、税負担の公平性と市税収入の安定的な確保のため、適切な滞納整理を行います。

こども家庭支援課

全ての子育て世代が安心して子どもを産み育てられるよう、妊娠期や出産前後の相談支援をきめ細かに行うとともに、地域・保育所・学校・地域子育て支援拠点等と連携し、学齢期までの子育て支援を行います。

戸籍課

来庁者を温かくお迎えし、親切・丁寧でわかりやすい説明と、マイナンバーカードの活用を推進しつつ個人情報適正な取り扱いを行います。また、転入時に西区に関する冊子類を配付し、区の情報・魅力をお届けします。

西土木事務所

道路・下水道・公園の適切な維持管理や災害対応を行い、安全・安心な暮らしを守ります。また、ボランティア活動への支援や、協働による花壇への花苗植えに取り組み、潤いと安らぎを感じられるまちづくりを進めます。

区政推進課

分かりやすく「伝わる」情報発信を行い、皆さまの声を地域課題の解決につなげます。また、次世代の発想・アイデアを生かしながら地域・企業・団体の皆さまと連携し、魅力と活気あふれるまちづくりを進めます。

区会計室

区民の皆さまの信頼に応える、正確で迅速な会計経理事務を行います。また、窓口に来た方や電話でのお問い合わせに対し、わかりやすい説明を心掛け、親切で丁寧な対応をします。

福祉保健課

地域の皆さまや関係機関と連携し、3年目を迎える第4期「にこまちプラン」を推進します。また、区民の皆さまが健康に過ごせるように、感染症対策と生活習慣病予防の取組・啓発を推進します。

保険年金課

小児医療費無償化等の医療援助、保険や年金について、わかりやすく説明し、誠実・丁寧に対応します。保険料の Web 口座振替やスマホ決済等についても、的確にご案内します。関連部署との連携も更に強化します。

南浅間保育園

子どもの人権と最善の利益を守り、安心できる環境を作り、一人ひとりを大切に誰からも信頼される保育を実施します。保護者や地域の方たちと共に子どもの成長や発達を喜び合いながら、子育てを支援します。

地域振興課

自治会・町内会や商店街をはじめとした地域の皆さまに寄り添いながら、まちの魅力発信やにぎわいづくりを更に進めていきます。また、清潔で美しい街づくりや安全・安心なまちづくりに取り組みます。

高齢・障害支援課

高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしい暮らしを続けられるよう、必要な支援やつながりづくりに取り組みます。また、障害への理解を深めるための啓発を進め、誰もがにこやか幸せに暮らせるまちを目指します。

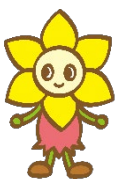
生活衛生課

食中毒予防・感染症対策・動物の適正飼育を推進する取組を通じ、地域の皆さまや西区を訪れる人々の食の安全や暮らしの衛生を確保します。特に、大規模な商業施設・宿泊施設に対する衛生指導を重点的に実施します。

生活支援課

生活の不安や困りごとがある方に寄り添い、親身な相談やご本人に適した支援を通して生活を支えます。生活困窮家庭のお子さんに対し、生活支援や学習支援など、子どもの将来の自立に向けた支援を推進します。

「チーム西区役所」は資源循環局 西事務所や西消防署、中央図書館等とも連携し、地域の皆さまと一緒に課題解決に取り組みます！



3-(2) 令和5年度 西区主要事業の進捗状況

地域のつながりづくり

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進 (福祉保健課)
【予算額 2,332千円(対前年度比 61千円減)】

西区では、「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画、愛称：にこまちプラン)を西区の総合的な計画と位置づけ、その推進にあたっては、地域包括ケアシステムの構築と一体的に取り組みながら、地域の様々な活動を支援することで、住民同士の「顔の見える関係づくり」や、地域課題の解決に住民が取り組む機運を一層広げることを目指しています。

令和5年度は、第4期計画(令和3～7年度)の3年目を迎えます。より着実に計画の推進を図り、特に「地区別計画」に関する取組に関して、区社会福祉協議会や地域ケアプラザと連携した地区支援チームが積極的にサポートしながら進めます。

併せて、地域の皆様等に地域活動や福祉保健により関心を持っていただけるよう広報・啓発にも取り組みます。

(1) 「にこまちプラン」の推進等(2,332千円)

① 「にこまちプラン」(第4期西区地域福祉保健計画)の推進

地域における様々な課題の解決に向けて、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザが連携しながら、取組を行うとともに、「地区別計画」の推進に向けた地域活動を協働で支援していきます。

また、福祉保健分野に精通したアドバイザーの助言のほか、各分野の代表者で構成された「推進評価委員会」(7月7日予定)での意見を聴取して推進していきます。



推進評価委員会

■参考：第24回 西区地域福祉保健計画推進・評価委員会
【開催日】令和4年6月13日
【会場】西区役所3階AB会議室
【内容】・第4期西区地域福祉保健計画の概要
・第4期西区地域福祉保健計画の推進について(意見交換)
・区内の地域包括支援センターの運営について等

② 「にこまちプラン」(第4期西区地域福祉保健計画)の
広報・啓発

地域活動の参考となる題材を取り上げながら、様々な世代を対象とした「にこまち講座」(11月30日予定)を開催します。

また、学校等と連携し、「こども向け啓発」の機会を創出します。(戸部小学校：5月9日、23日、24日)

さらには、活動の情報やノウハウを共有して活動の充実につなげるため、地区別計画の取組発表などを中心とした「にこまちフォーラム」を開催(2月17日予定)するほか、横浜市YouTube公式チャンネルで配信中の地区別計画紹介動画を活用した広報・啓発を引き続き行います。



にこまちフォーラム

■参考：令和4年度にこまちフォーラム

【開催日】令和4年7月28日

【会場】横浜市健康福祉総合センター

【内容】地区別計画紹介動画等による第4期計画策定
報告など

【参加者数】合計88名

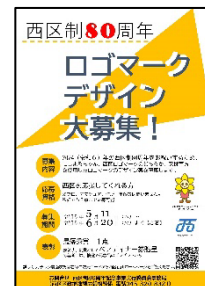
令和6年の西区制80周年を祝う事業を展開するにあたって、その牽引役として、区内の連合町内会・団体の皆様による、西区制80周年記念事業実行委員会（以下、「実行委員会」という）を令和5年3月13日に立ち上げました。具体的な取組について、実行委員会において検討・実施し、区民の皆様と共に進めていきます。

(1) 現在進行中の取組について

① 西区制80周年を広く周知するためのロゴマーク等の作成について

西区マスコットキャラクター「にしまるちゃん」や「西区ロゴマーク」を使用したロゴマークを作成します。作成にあたって、ロゴマークデザイン案を公募し、一般投票を経て決定し、活用します。また、キャッチフレーズについては、これまで親しまれている「温故知新」に、新しい「副題」を作成します。

<p>■ロゴマークのデザイン案の募集について</p> <p>【募集内容】 令和6年の西区制80周年をお祝いするための、「にしまるちゃん」、「西区ロゴマーク」のどちらか、又は両方を使用したロゴマークのデザイン案</p> <p>【応募資格】 西区を応援してくれる方 (プロ、アマチュア、住所、年齢等は問わず)</p> <p>【募集期間】 令和5年5月11日～6月20日</p>
--



募集チラシ

② 「西区制80周年記念連携事業」の募集について

令和6年に「西区制80周年記念連携事業」として、地域、団体の皆様において、西区制80周年を共に祝い、広くPRしていただける各種の独自のイベントを実施していただきたいと考えています。令和5年11月頃から募集を予定しています。

③ 西区制80周年記念事業への協賛の募集について

西区制80周年記念事業を広く盛り上げていくため、実行委員会で行き組む事業について、区内の団体、企業等の皆様から「協賛」という形でご参画、ご協力いただきたいと考えています。令和5年10月中旬頃から募集を予定しています。

(2) 検討している取組案（令和6年）について

- ・西区の魅力を再発見してもらうスタンプラリー、「温故知新のみち」の案内サイン等の活用
- ・西区内にある商店街・個店の魅力を再発見するきっかけづくり
- ・記念式典の開催及び記念冊子の発行
- ・記念作品の制作 等

いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

ウ 高齢者あんしん生活サポート事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 3,095千円(対前年度比 157千円増)】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた西区アクションプラン」(令和3年度改訂)に基づき、「地域包括ケアシステム推進事業」「認知症等高齢者支援事業」「健康づくり・介護予防事業」の取組を推進します。

(1) 地域包括ケアシステム推進事業(284千円)

① 啓発キャンペーンの実施

期間を定め、「在宅医療・介護連携」「生活支援・社会参加の充実」「介護予防」「認知症対策」の推進に関する関係機関や区役所等の取組を一体的にPRするとともに、パネル展を通して、地域包括ケアシステムを広く周知します(11月)

② 地域ケア会議の充実

地域包括ケアシステムの構築に向けた区レベル(11月予定)・地域包括支援センターレベル会議の充実を図るため、地域課題の抽出から課題解決につなげるためのアドバイザーを派遣します。(2回)

(2) 認知症等高齢者支援事業(1,106千円)

① 認知症講演会の開催

認知症の正しい知識・理解の普及啓発を行うとともに、予防のための食生活や運動、認知症になっても安心して暮らすための取組を紹介する講演会を開催します(10月予定)。また、講演会を録画し、YouTube等で配信します。

■参考：令和4年度 認知症普及啓発兼介護者支援講演会「認知症の方への口腔ケア」

【開催日】令和4年10月20日 西区役所

【対象者】介護中の方、今後介護をする可能性のある方、認知症ケアに興味がある方

【参加者】48名

② 認知症サポーター養成講座の実施

認知症に優しいまちづくりを進めるため、引き続き、地域住民、学校や企業等の要請に応じ、認知症サポーター養成講座を実施します。(通年)

③ 普及啓発人材育成研修の実施

認知症キャラバン・メイト(登録者数165名)等に向けて人材育成研修を交流会と合わせて実施し、地域における自主的活動につながるよう支援します。(6月29日、1月予定)

(3) 健康づくり・介護予防事業(1,705千円)【拡充】

① 「ころばんよ体操」を活用した健康づくり

4つの効果(ロコモティブシンドローム・メタボリックシンドローム・認知症予防、オーラルフレイル予防)がある西区のご当地体操「ころばんよ体操～パタカラバージョン～」と、後期高齢者や障害者でも取り組みやすい「ころばんよ体操～Part 2～」を活用し、区民の健康づくりや地域における自主的な活動の活性化に努めます。(通年)



ころばんよ体操
～パタカラバージョン～

**② 介護予防活動人材育成研修等の実施
(健康福祉局 区配事業)**

西区の健康課題であるフレイル予防の重要性を啓発するため、老年学の第一人者である筑波大学教授(理学療法士)と連携し、講演会を開催しました。

(6月1日、参加者299名)。また、講演会参加者等を対象に、測定研修会を開催し、地域における介護予防活動の人材を発掘・育成します(7月12日)。

地域における介護予防活動のリーダーとなる「げんき活動応援団」(登録者数22名)等の人材育成研修及び介護予防活動グループ交流会を開催し、活動の充実を図ります。(11月27日、2月予定)



令和5年度
介護予防講演会の様子

■令和5年度 介護予防講演会
 「備えあれば憂いなし 運動の極意と貯筋のすすめ」
【開催日】 令和5年6月1日 西公会堂 ホール
【対象者】 西区在住の高齢者を中心にどなたでも参加可能

③ 介護予防リーフレットの配布

地域における介護予防に関する自主的活動の場や健康づくりの取組等を紹介するリーフレットについて、コロナ禍における各団体の状況を反映し、地域における介護予防等を促進します。(通年)



「お元気活動応援マップ 屋外編」
公園・屋外で活動中のグループ紹介

エ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 4,060千円(対前年度比 296千円減)】

障害のある人が住み慣れた地域で安心して生活できるように、障害に対する理解を深める啓発活動や、電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策、自立に向けた生活体験を行う場の創出を行い、障害のある人も住みやすいまちづくりを目指します。

(1) 障害のある人に対する理解を深めるための啓発・PR事業(3,270千円)

イベントや広報印刷物等、様々な機会を通じて啓発活動を行っていきます。

① 地域防災拠点訓練での啓発

災害時に配慮が必要な障害者について、地域防災拠点訓練の参加者に、障害者が避難してきた際の配慮等を、訓練の中でミニ講座を行うなどして周知を行います。(通年4か所)

■参考：令和4年度地域防災拠点訓練での障害啓発
【実施日・場所】9月11日 岡野中学校
【参加者数】区民28名



令和4年度地域防災拠点訓練

② 区民まつりでの啓発

障害理解を深める啓発活動を作業所や障害関連施設と連携して実施します。(11月)

③ 障害理解推進のためのイベント企画

障害者週間に合わせて、障害理解の推進を目的としたイベント等を障害福祉事業所と共に企画します。あわせて、障害者施設の利用者が制作した作品展示や、製品の販売を行います。(12月予定)

④ 障害者施設利用案内の配布

区内障害者通所施設利用案内冊子「にしナビ」を障害当事者及び家族の相談に配付します。基幹相談センター、生活支援センターでの活用も進めます。一般の方向けに、障害施設紹介リーフレット「西区Style」をイベントの機会等を通じ広く区民にも配布します。

(通年)



障害者施設利用者の作品展示



障害者通所施設利用案内「にしナビ」



障害施設紹介リーフレット「西区Style」

(2) 電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策(440千円)

人工呼吸器や吸引器などの電源を要する医療機器を日常的に使用している方が災害時に向けた備えを進められるよう支援を行います。

① 災害時個別支援計画(「わたしの災害対策ファイル」)の作成支援

災害時を想定し日頃からの備えとして、行動手順や医療情報をまとめた「わたしの災害対策ファイル」を区内訪問看護ステーションと連携し、対象者への配付と計画の作成支援を行います。(通年)



わたしの災害対策ファイル

② 福祉避難所と連携したガス式発電機稼働訓練の実施

長時間に渡る停電時に備え、臨時的に充電ができる場所として、区内の福祉避難所6か所に発電機を設置しています。発災時に速やかに対応できるよう、福祉避難所で機器点検・稼働訓練を実施します。(通年、6か所)

③ 地域防災拠点(指定避難所)への発電機の配付

地域防災拠点(指定避難所)にある通常の発電機に加え電源を要する医療機器を使用している方が、災害時に充電できるように新たに発電機を配付します。12か所の地域防災拠点のうち年間3ヶ所ずつ配付し、医療用充電ステーションとして整備していきます。(通年)



発電機

(3) 障害者の地域生活支援事業(350千円)

障害者に対する地域生活支援として、生活体験事業(マンスリーマンションを活用した生活体験)を利用した当事者が体験談を発信する機会を設けます。また、障害者の地域移行や一人暮らしを円滑に進めるための企画を検討します。(通年)

オ 子育て支援の推進

(こども家庭支援課)

(西区で子育て学び隊事業、西区の保育施設つながり事業、女性と子どものための相談支援強化事業)

【予算額 4,599千円(対前年度比 43千円減)】

西区は他区に比べ、出生数に占める第1子の割合や35歳以上で出産する人の割合、転入・転出者の割合が高いことを踏まえ、子育て家庭が地域で孤立することなく安心して子どもを産み育てられるよう、プレパパママクラスや赤ちゃん教室などを実施し、地域とのつながりを大切にしながら子どもの健やかな育ちを応援します。

(1) 西区で子育て学び隊事業(3,433千円)

① プレパパママクラス

妊娠6～9か月の妊婦とそのパートナーが妊娠・出産・子育てに関する基礎知識を学ぶための「プレパパママクラス」を3回1コースで実施しています。このうち赤ちゃんがいる生活について学び、沐浴・おむつ交換など体験を行う講座について、平日に参加できない方が参加できるよう休日にも開催します。区役所会場(年6回・各回定員17組→20組に増)の他、委託により地域子育て支援拠点でも実施します(年6回・各回定員12組)。

※5月27日実施：18組参加



プレパパママクラス

② 赤ちゃん教室

0歳児とその保護者や妊娠5か月以上の妊婦を対象に、子育てに関する情報交換や仲間づくりなどを目的に、地域の方の協力もいただきながら、区内9会場で実施します。コロナ禍の3か年は2部制で開催していましたが、令和5年度からは従来の1部制とし、保護者同士の交流の機会を増やします。(年10回×9会場)

※4・5月実績：15回開催 119組、245名参加



赤ちゃん教室

③ 中学校いのちの教室

西区を主な通学区域とする市立中学校(全5校)の3年生を対象に、「中学校いのちの教室」を実施します。助産師による性教育を通じて、生徒自身が正確な知識と情報を持ち、安全な性行動を選ぶことを学ぶ機会とします。また、命の尊さを伝えることにより、自分自身も大切な存在だと感じ今後の人生において主体的に意思決定していく力を身につけることにもつなげていきます。

④ その他の子育て支援の推進

子育てガイドや保育施設等一覧による子育て情報の提供などを行います。



表紙



中面 (抜粋)

子育てガイド (西区子育て航海図)

(2) 西区の保育施設つながり事業(649千円)

南浅間保育園において、地域の親子に向けた子育て支援事業や育児相談(来園・電話・オンライン)を実施するとともに、地区ごとに子育て関連施設と連携して地域の会場に出向いて育児講座を行います。また、保育の質向上に向けた研修等を実施します。



地域の親子に向けた育児支援の様子

(3) 女性と子どものための相談支援強化事業(517千円)

子どもの発達や特性に対する関わり方に困り感のある保護者に適切な助言を行うため、3歳児健康診査時に臨床心理士による個別相談(年16回)を実施するほか、支援に関わる職員に対して専門家からスーパーバイズ(助言・指導)を受ける機会を設けます。

※臨床心理士による個別相談：4・5月実績 2回 13件実施

まちの回遊性向上とにぎわいづくり

カ 地域連携推進・回遊性向上事業

(区政推進課)

【予算額 6,393千円(対前年度比 734千円減)】

区民・企業・団体の皆様と連携協働しながら、環境に配慮した行動の定着を目指すとともに、花と緑や史跡をはじめとした、地域資源を活用した区内の魅力資源の周知・発信等を行うことにより、区内の回遊性向上を図り、活気あふれるまちづくりを進めていきます。

また、地域で活動する様々な団体等と連携し、地域の主体的な取組を支援しながら、身近な地域課題の解決に取り組みます。

(1) 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業(3,536千円)

ガーデンネックレス横浜の開催等、来街者が増加する機会も捉えながら、区内の魅力資源を発信し区内の回遊を促進するとともに、2027年国際園芸博覧会に向けて、機運醸成を行います。

① イベント等を契機としたまちの回遊促進

イベント等の来街者が増加する機会も捉えながら、区内の回遊を促進するため、まち歩きルート「温故知新のみち」を活用した企画を、区制80周年記念事業のプレイベントとして実施します。

また、区内に設置している案内サインについて適切に維持管理を行います。



「温故知新のみち」散策マップ

② 地域資源を活用した花と緑のまちづくりの推進

2027年国際園芸博覧会に向けて、区内の機運醸成を進めるとともに、近隣区と連携した周知に取り組みます。また、「にしく緑花サポーター」に登録いただいた団体等への花苗等の配布を通じて、サポーターと協働し、花と緑のまちづくりを推進します(花苗等の配布は春秋の年2回実施)。

「ガーデンネックレス横浜」事業と連携し、フォトスポットの設置など、区内に点在する花と緑の地域資源を活用し区内の回遊性を高めました。



にしく緑花サポーターを通じた花植えの様子

■参考：にしく緑花サポーター

【開始年度】令和3年度

【対象】花壇等において緑化に取り組む区内の小中学校や公共施設等

【登録数】29か所(R5.5末時点)

〈内訳〉保育園、小・中学校：14か所

公共施設等：15か所



「フォトスポット」の設置

(2) 環境行動推進事業(2,101千円)

区民・企業・学校・行政の各主体が相互に連携・協力し、環境に配慮した具体的な行動の定着に向けた取組を実施します。

① 若い世代に向けた環境行動推進の取組

次世代を担う若い世代に向けて、環境に配慮した具体的な取組やSDGs達成に向けた取組を行うきっかけとして、参加型取組「にしくSDGsチャレンジ」や、環境学習イベントを実施します。

■参考：にしくSDGsチャレンジ
【事業概要】 SDGsに関連した3つの取組にチャレンジし、応募いただいた方に、抽選で景品を進呈。
【対象】 西区の小中学生 **【応募】** 128名 (令和4年度実績)
 ■参考：親子で学ぶ！にしくエコ・クッキング講座
【事業概要】 食材とエネルギーを無駄なく使う、環境にやさしい料理を学ぶ
【対象】 区内在住・在学の小学3～6年生と保護者(2人1組)
【参加】 14組28名 (令和4年度実績)



にしくSDGsチャレンジ パンフレット

② 区内におけるSDGs達成に向けた機運醸成

若い世代が中心となって区内の環境配慮行動やSDGs達成に向けた取組を進める機運醸成を図るため、区内企業・団体等と連携しながら、次世代が作成した、SDGsに関する作品のパネル展を開催します。

■参考：にしく「わたしの大切にしたいSDGs」展
【実施期間】 令和5年2月1日～令和5年3月12日
【事業概要】 西区の小中学生が作成した絵画などの作品を展示
【会場】 市庁舎及び区内3会場にて巡回展示
【参加校・団体】 6校・1団体
【作品数】 約50点



にしく「わたしの大切にしたいSDGs」展

(3) 地域連携交流事業(756千円)

「にこまちプラン」の推進に向け、地域人材の発掘・育成を図り、地域支援を拡充します。

① 西区地域づくり大学校修了生支援補助金

西区地域づくり大学校の修了生の地域活動の円滑なスタートに向け負担軽減を図ることを目的として補助金の交付を行います。

② 西区まちづくりアドバイザー派遣

地域が実施するまちづくり活動の企画・運営に対し、専門的な立場から助言を行い、地域の自主的活動を支援するためにまちづくりアドバイザーを派遣します。

③ 神奈川大学との連携

神奈川大学と締結した連携協定に基づいて、SDGsの推進や地域の課題解決に向けた具体的な取組の展開について協議を進めていきます。

■参考：PBL(課題解決型学習)の実施
【事業概要】 「観光・ホスピタリティ」の観点から、西区の課題(回遊性向上)の解決策を考える学習
 ■参考：令和4年度における神奈川大学との連携実績例
 ・神奈川大学みなとみらいキャンパスホップ栽培プロジェクト
 ・神奈川大学生と西区地域子育て支援拠点の連携による、子育て支援に関するフィールドワーク及びイベント出展(5～11月)
 ・笑って学ぼう！漫才師と弁護士による成年後見制度講座(11月)
 ・西区読書活動推進講演会「YOASOBI誕生の仕掛け人に聞く読書の魅力」(2月)



神奈川大学学生向けPBL周知チラシ

【予算額 3,029千円(対前年度比 246千円増)】

商店街活性化と誘客促進を進めると同時に、周辺の地域資源の魅力情報を発信することで“まちのにぎわい”を創出します。また、来年区制80周年を迎えるにあたり、機運醸成につながるよう、効果的に進めていきます。

(1) 西区商店街スタンプラリー事業(2,479千円) 【拡充】

商店街へ実際に足を運ぶきっかけづくりを目的とした「西区商店街スタンプラリー」を開催します。

なお、幅広い年代の方に参加いただけるよう、令和4年度に引き続き、デジタルスタンプラリーを併用する方法にて準備を進めます。

区制80周年の機運醸成として、開催期間等を含め、西区商店街組合連合会と連携して進めていきます。



スタンプラリー冊子及びステッカー
(令和4年度)



専用アプリ不要。
二次元コードを読み取ってスタンプを貯めます。

デジタルスタンプラリー(令和4年度)

■参考：令和4年度開催内容

西区商店街スタンプラリー

11月11日 ~ 11月30日 (13商店街：160店舗)

応募者数：513人

【参加者からの主な声】

- ・普段他で買っているものも期間中はなるべく近所の商店街で買ってスタンプを集めました。
- ・気になっていたお店で初めて買うきっかけになりました。
- ・この企画で行ったことがないお店に行ってみました。新しい発見で子どもと楽しめました。

(2) 西区情報発信事業(550千円)

令和4年度に実施した自治会・町内会長等へのアンケート結果をもとに店舗の選定を行い、西区の商店街等にある店舗を紹介する冊子の発行及び西区ホームページ等を活用した情報発信を行います。

また、西区の魅力を広く区民、来街者へ発信することで、区制80周年に向けた「まちのにぎわいづくり」を創出できるよう、様々なツールを活用し、多角的な視点をもって事業を進めていきます。

ク スポーツ振興事業

(地域振興課)

【予算額 3,244千円(対前年度比 1千円減)】

区民が様々なスポーツを体験する機会を創出し、各種競技への理解・関心を高めます。

ウォーキングイベントの開催により、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の健康づくりを推進します。また、来年区制80周年を迎えるにあたり、機運醸成につながるよう、効果的に進めていきます。

(1) スポーツ体験会(769千円)

① トップスポーツクラブとの連携事業

横浜市のトップスポーツクラブである横浜FCの「にし区民DAY」を開催することで、区民へのプロスポーツの観戦機会を創出し、スポーツへの関心を高めます。

(7月1日)

■参考：令和4年度 にし区民DAY
【開催日】令和4年9月10日 栃木SC戦 ニッパツ三ツ沢球技場
【対象者】西区在住・在勤・在学の方を優待(高校生以下招待)
【来場者】561名(全来場者4,800名)



横浜FC「にし区民DAY」(令和4年度)

② 小学校におけるスポーツ体験会

区内小学校の授業において、インクルーシブスポーツ等の体験会を実施し、各種競技への関心や理解、競技団体等との交流を深める機会を創出します。

■参考：令和4年度実績
・ライフキネティック【日体大SMG横浜】(10月31日・一本松小)
・ランニング【トレイルランニング横内選手】(10月12日・稲荷台小)
・サッカー【横浜F・マリノスフトウーロ】(12月1日・浅間台小)
・ポッチャ【西区スポーツ推進委員連絡協議会】(12月9日・西前小)



ライフキネティック体験会(令和4年度)

(2) 西区ハマのウォーキングフェスティバル(1,700千円)

区民の健康づくりと西区の魅力再発見を目的として、「西区スポーツ振興事業推進委員会」の主催により、広く区民を対象としたウォーキングフェスティバルの実施に向けて検討を進め、開催を目指します。(12月3日)

■参考:第16回西区ハマのウォーキングフェスティバル実施概要
【開催日】令和4年12月4日
【参加者数】641名
【コース】野毛山坂道ぐるっとコース(長距離/6.8km) 石崎川沿道ふらっとコース(短距離/4.1km)



ゴール会場(臨港パーク)(令和4年度)

(3) 区民スポーツ振興事業、区青少年活動推進事業(775千円)

西区スポーツ協会、青少年育成団体等へ補助金を交付し、活動を支援します。

安全・安心なまちづくり

ケ 西区ヨコハマ3R夢推進事業

(地域振興課)

【予算額 2,909千円(前年度比 51千円増)】

清潔できれいな街づくりを推進するとともに環境負荷の低減を図り、豊かな環境を次世代に引き継ぐために、区民・企業の3R行動の推進や地域清掃活動の支援を行います。

なお、場所や時間の制限を受けにくいオンラインを活用した環境学習の実施や区民・企業等と連携した地域清掃活動を展開し、事業効果の最大化を図ります。

また、来年区制80周年を迎えるにあたり、機運醸成につながるよう、効果的に進めていきます。

(1) ヨコハマ3R夢推進事業(1,088千円)

① ごみの減量・リサイクルの推進

ごみの減量・資源化と並行してフードロス・プラスチック削減普及啓発について、積極的に取り組んでいきます。

世界的な課題となっているプラスチック問題を幅広い区民の方に関心を持ってもらうため、フードロス・プラスチック削減イベント時には環境負荷を抑えた製品やプラスチック代替素材を原料とした啓発物品を使用します。

また、今年度も企業と協働した取組として、環境問題を身近な事に感じてもらうため、親子で楽しみながら学べるワークショップを人通りが多くにぎわいを見せる横浜駅西口で実施します。(JR横浜タワー2階アトリウム6月17日予定)

なお、これまで実施してきたパネルやデジタルサイネージを活用した視認啓発の実施店舗を拡大し、より多くの方が啓発動画を目にする機会を増やしていきます。



啓発物品の例

(竹パウダー配合カトラリーセット)



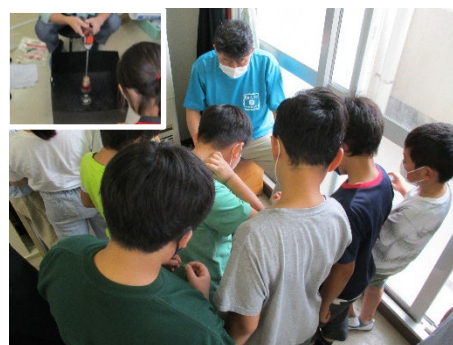
ワークショップ実施例 (JRタワー)

② 啓発や環境学習の推進

小学生を対象とした環境学習では(公財)横浜市資源循環公社と連携したリサイクル講座を実施します。

リサイクル講座では座学以外にも体験的要素を取り入れ関心をひくことで、児童達のリサイクルに対する理解度を高めていきます。

また、各学校の要望に合わせて場所や時間の制限を受けにくいオンライン講座の実施など、幅広いプログラムで展開していきます。



ペットボトルを用いたリサイクル講座の様子

(2) 清潔できれいな街づくり事業 (1,821千円)

自治会・町内会等による地域清掃活動を支援するため、必要とする清掃用具を配付します。(希望調書：4月配付済、清掃用具8月頃配付予定)

今年度につきましても区内の高校・企業と連携し、横浜駅西口周辺地区の清掃・組成調査を行う地域貢献活動を、地域において幅広い年代の方に関心を持っていただける活動として展開します。

また、企業・団体等による清掃活動(WELCOME YOKOHAMA CLEAN SUPPORTER)を支援するとともに、横浜の玄関口である横浜駅周辺での大規模清掃活動「横浜駅をきれいに！」キャンペーン(5月30日)を実施した他、区局が連携した行政による清掃活動を引き続き実施します。

さらに、実効性のあるごみやたばこのポイ捨て対策として、地域や事業者、関係部局と連携して横浜駅西口の喫煙禁止地区エリア拡大や喫煙所の設置を進めるとともに、企業の協力を得て放映した街の美化に関する啓発画像やポイ捨ての多い場所へのポイ捨て禁止看板、ステッカーの貼付を行うことで「清潔できれいな街づくり」を推進していきます。



横浜平沼高校生徒による清掃活動



「横浜駅をきれいに！」キャンペーン

コ 地域防災活動推進事業

(総務課)(福祉保健課)

【予算額 12,503千円(前年度同額)】

西区の「安全・安心なまちづくり」の実現に向け、地域における防災機能の強化を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の対策や、減災対策など自助・共助の取組を推進し、デジタル技術を活用して区本部機能及び地域防災力の向上を図ります。

(1) 地域防災拠点の機能強化(1,738千円)

① 円滑な避難所運営と多様な避難者への対応支援

地域防災拠点運営委員会を主体とした地域防災拠点(以下、「拠点」)運営ができるよう、引き続き支援を実施していくとともに、円滑な避難所運営を図るために新たに資機材を配備します。

また、乳幼児、高齢者、障害者といった要配慮者など多様な避難者に拠点对応できるよう支援を行います。



平沼小学校地域防災拠点訓練(令和4年度)

② 地域防災拠点訓練の実施

発災時に拠点が円滑に開設・運営されるよう、引き続き訓練を実施します。

(9月2週目(10日前後)を目途に、年1回以上)

訓練の実施にあたっては、各種マニュアルや訓練事例等を各拠点と共有し、現状を踏まえた訓練の実施を支援します。

・地域防災拠点管理運営委員会連絡協議会の開催(5月26日)

(2) 区本部の防災機能強化(6,115千円)

① 震災・風水害対策の強化及びデジタル技術の活用

災害時を想定した区本部のシミュレーション訓練を実施し、発災時における区本部の災害対応力を強化するとともに、デジタル技術を活用し効果的な区本部運営を実施します。

・風災害対策訓練(6月13日予定)

・補充的避難所開設訓練(みなとみらい本町小学校)(7月予定)

・震災対策訓練(11月予定)



風水害訓練(広報ルート確認)の様子
(令和4年度)

② 帰宅困難者対策の強化

横浜駅情報連絡本部であるJR横浜タワーを中心とした情報受伝達訓練と、帰宅困難者一時滞在施設における開設訓練を実施します。

・JR横浜タワーでの帰宅困難者対策訓練(6月)

③ 災害医療対策の推進

区内医療機関・医療局との通信訓練(隔月)や医療救護隊検討会及び医療救護隊巡回訓練、区本部訓練等を通じて、発災時の対応力を強化します。

また、災害医療連絡会(2～3月予定)を通じて区内の関係機関・団体と連携し、災害時の医療救護体制の課題や対応策について検討します。

(3) 自助・共助の推進(4,650千円)【拡充】

① 地盤品質判定士による崖地に関する無料相談会の実施

昨年度に実施し相談者の満足度が高かった、地盤品質判定士による崖地に関する無料相談会を引き続き実施し、民有地の崖・擁壁の適切な維持管理の啓発を図ります。

【実施日時】

(1)令和5年6月18日@西公会堂

(2)令和5年6月19日@西区役所

※事前予約制・各日6組(計12組)定員



崖地相談会の様子(令和4年度)

② 木造住宅密集地域における減災対策

感震ブレイカー(簡易タイプ)の購入に係る補助事業を引き続き推進します。感震ブレイカーの認知度向上及び火災延焼対策としての有効性の理解促進を図るため、単位町内会への個別説明や防災指導等の機会に西消防署と連携して啓発活動を行います。

また、老朽化した初期消火器具等の更新に係る補助事業を引き続き実施し、延焼火災対策を推進します。

■参考：過去3年の実績

【感震ブレイカー補助実績】

- ・令和2年度：13団体・447個
- ・令和3年度：6団体・144個
- ・令和4年度：2団体・90個

【初期消火器具更新実績】

- ・令和2年度：7団体・17基
- ・令和3年度：3団体・4基
- ・令和4年度：1団体・1基

③ 区民への防災・減災の普及啓発

関東大震災から100年の節目を迎える今年は、震災対策の重要性を未来に継承するために、更なる防災・減災に関する啓発を実施します。

新たに啓発パネルを作成し、イベントや各種施設等での展示を実施します。

また、区民を対象とした防災講演会を開催するとともに、次世代の防災の担い手となる小・中学生に向けたセミナーを実施します。その他、広報よこはま西区版で防災特集を組み、啓発を実施します。

・防災啓発ウェットティッシュの作成・配布(3月～)

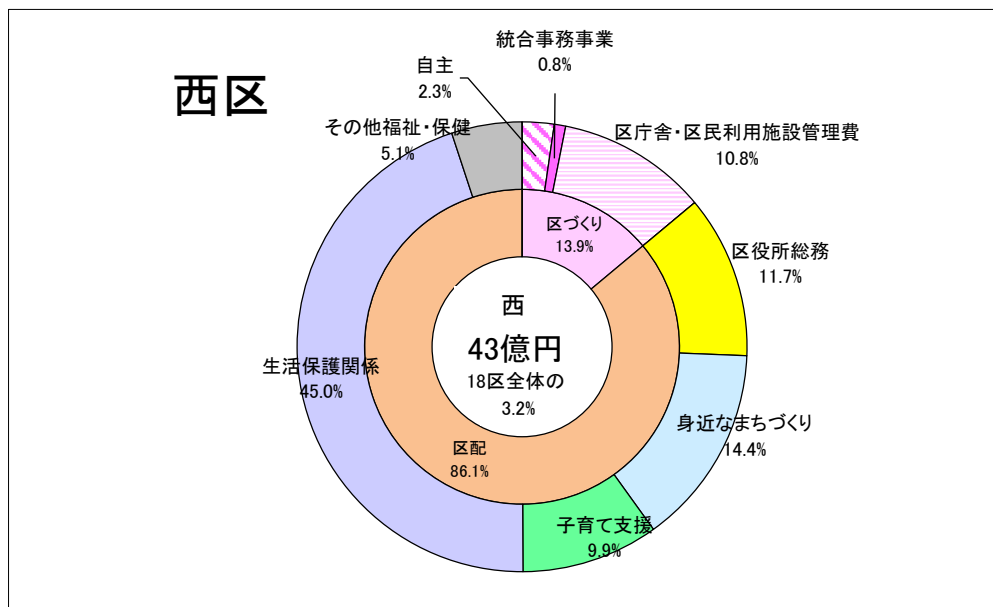
・広報よこはま西区版5月号特集にて「風水害啓発」を実施(5月)

④ 普及啓発のデジタル化対応

防災に関するデジタル化の一環として、防災マップをオフラインでもスマートフォンやタブレット上で現在地を確認できるアプリを導入します。

3-(3) 西区に係る予算のすがた（令和5年度一般会計予算）

一般会計は、福祉、保健、道路・公園の維持管理など基礎的な行政サービスを行う会計で、主に市税（市民税及び固定資産税など）が使われています。横浜市の一般会計の規模は1兆9,022億円ですが、このうち区が執行している予算の規模（区の人件費を除く）は1,341億円です。このうち、西区が執行している43億円の予算に焦点をあてて、税金を用いて、どれだけの事務事業を行っているかを示します。



西区の予算の特徴

令和5年度一般会計予算の中で、西区が執行している予算の規模は、約43億円となっており、18区全体の予算のおよそ3.2%を占めています。これは、単純に区民1人当たりには換算すると、40,587円を支出していることとなります。

そのうち、区が自律編成を行う「個性ある区づくり推進費」は約6億100万円となっており、西区に係る予算の約13.9%となっております。「個性ある区づくり推進費」の中でも「区庁舎・区民利用施設管理費」の割合が高くなっています。

区に係る予算の中でも大部分を占めているのは、局から予算配付を受け区が執行している「区配付予算」で、西区全体の約86.1%に及びます。その中でも特に「生活保護」に係る予算は19億4,300万円となっており、区配付予算の半分以上を占めています。また、保育所の運営費や放課後児童健全育成など「子育て支援」に係る経費は4億2,600万円、西区全体の9.9%を占めています。「身近なまちづくり」として約6億2,300万円、西区全体の14.4%を占めている予算は、土木事務所が執行する予算で、身近な道路・公園等の管理運営に係る経費となっております。

このように西区の予算は、地域の課題やニーズに迅速かつきめ細やかに対応するための自主企画事業を始め、局からの予算配付を受け、局に代わり区民生活に密着した福祉や保健、子育て、身近なまちづくりなど、区民生活を支える重要な事務事業を担っています。

主 な 事 業 内 容

(単位:百万円)

分類	予算	説明
個性ある区づくり推進費	601	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
自主企画事業費	99	地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費です。
統合事務事業費	35	広報よこはま各版の発行や各区市民相談、青少年指導員等の活動、生活保護及び戸籍・住民登録等に係る経費です。
区庁舎・区民利用施設管理費	467	区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。
区配付予算	3,716	局からの予算配付を受け、区が執行している予算
区役所総務費	506	(総務部が執行する予算です。)
賦課徴収費	364	市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。
広報費	9	「広報よこはま」や「県のとより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。
統計調査費	1	各種統計調査を行うための経費です。
地域活動推進費等	132	戸籍住民登録の事務費、各種選挙の実施、自治会・町内会組織助成などを行います。
身近なまちづくり	623	(土木事務所が執行する予算です。) *下水道事業を含む 699 百万円
道路修繕費等	528	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。
河川維持管理費等	1	準用河川の維持管理や親水水路の維持管理などを行います。
下水道事業(※参考)	(75)	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。
公園管理費等	94	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。
子育て支援	426	(福祉保健センター等が執行する予算です。)
民間保育所運営	0	一時保育や休日保育などを実施する民間保育所の運営費
市立保育所運営	15	保育が必要な乳児、幼児を保育する保育所の運営費
放課後児童健全育成	300	放課後キッズクラブ運営委員会への補助金等
地域子育て支援拠点等	111	地域子育て支援拠点、小児医療費助成等
生活保護等	1,943	(福祉保健センターが執行する予算です。)
生活保護	1,901	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。(対象見込み世帯●●世帯)
生活困窮者自立支援	42	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。
福祉・保健	218	(福祉保健センターが執行する予算です。)
障害者福祉	58	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成などを行います。
高齢者福祉	25	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費。介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などを行います。
地域ケアプラザの管理運営等	135	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。
合 計	4,317	(※) 下 水 道 事 業 を 含 む 4,392 百万円

※各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

※年間を通じた概ねの配付額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。
(現時点では区への配付額が未定のため、区へ配付する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています)

3-(4) デジタル区役所モデル区に係る取組

西区では、横浜DX戦略に掲げられているデジタル区役所モデル区に選定されたことを受け、令和4年5月に「西区デジタル区役所モデル区プロジェクト」を組織し、全区展開を前提とした新たなサービスの創出に向けて、デジタル技術を活用した様々な実証実験に取り組んでいます。

本プロジェクトについて、令和4年度の実績をご報告するとともに、令和5年度の実施体制、取組計画(案)をご説明します。

1 令和4年度の実績(主なもの)

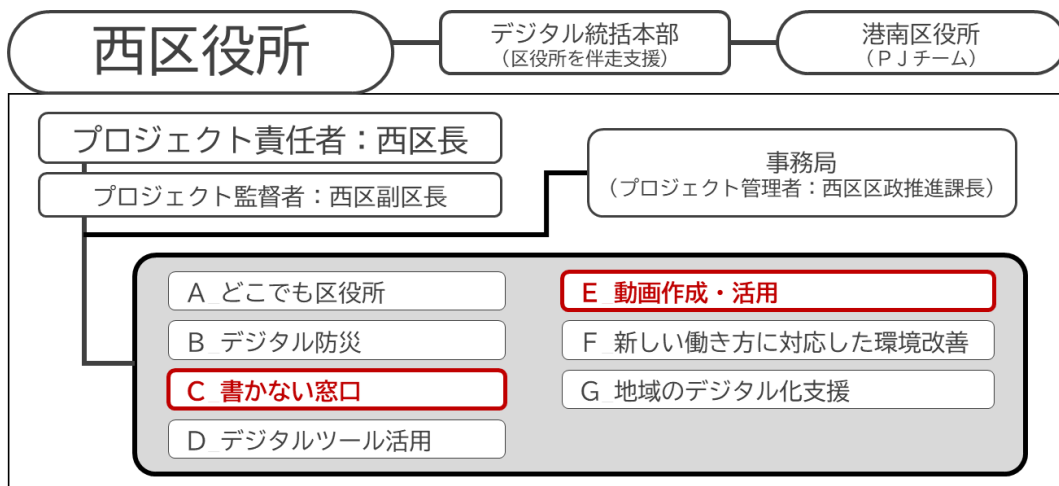
チーム	主な取組	実施時期等	実績、成果等
A	地区センターでのオンライン窓口実証実験	R5.2~3	・利用者：125人 肯定的意見⇒84%
B	避難所における避難者情報の受付、管理の効率化	R5.2.19	・避難者情報の処理時間⇒38%減
C	書かない窓口 申請書自動作成システムの導入	R4.9~12	・来庁者の滞在時間⇒37%減(税務課) ・申請書の記載時間⇒20%減(戸籍課)
D	出張業務でのスマホ、タブレット端末の活用	R4.11~	・手書き情報の端末入力作業の軽減 ・ペーパーレス化
E	動画の作成・活用 動画を用いた電話対応の効率化	R4.11~	・電話対応時間⇒66%減 (15分→5分未満)
F	インターネットFAXの導入	R4.9~	・FAX関連経費⇒50%減 ・ペーパーレス化
G	区連会Webページのリニューアル	R5.4.1	・自治会関連の問合せ対応業務の軽減

2 令和5年度の実施体制、取組計画(案)

(1) 実施体制

ア 基本的に令和4年度の体制を継続(=テーマ毎に、A~Gの7チームを編成)

イ 「**C 書かない窓口**」「**E 動画作成・活用**」は、デジタル統括本部が「**重点テーマ**」に位置付け、**特に強力に取組を推進**



(2) 取組計画(案)

ア デジタル統括本部主導で実施する取組

チーム	重点テーマ	取組内容
C	○	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードを活用した申請書自動作成システムの実証実験 ・対象事務の拡大、複数の区役所で実証実験の実施
E	○	<ul style="list-style-type: none"> ・動画の内製化促進のための動画作成ツールの実証実験 ・動画作成ツールを用いた動画の作成、動画を活用した窓口対応等の効率化 ・対象事務の拡大、複数の区役所で実証実験の実施
F		<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に開発した会計年度任用職員勤務実績管理システムの他区展開 ・二次元バーコードを活用した出退勤管理、勤務実績情報の自動処理

《参考画像》

<p>【C】申請書自動作成システム</p> 	<p>【F】会計年度任用職員勤務実績管理システム</p> 
--	--

イ 西区役所主導で実施する取組

チーム	取組内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・地区センターに設置したWeb会議用ブースを活用したオンライン窓口の実証実験 ・各種オンライン相談（育児相談、福祉保健相談、法律相談）の実証実験
B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災拠点の避難者情報の受付、管理の効率化
D	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルツール（スマホ、タブレット等）を活用した業務効率化 ・マイナンバーカードを活用した新たなサービスの検討
F	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットFAXの全庁導入に向けた他区への働きかけ ・西区庁舎4階の環境改善（お客様満足度の向上と職員の業務効率の向上）
G	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体のノンコア業務（会計処理等）のデジタル化支援

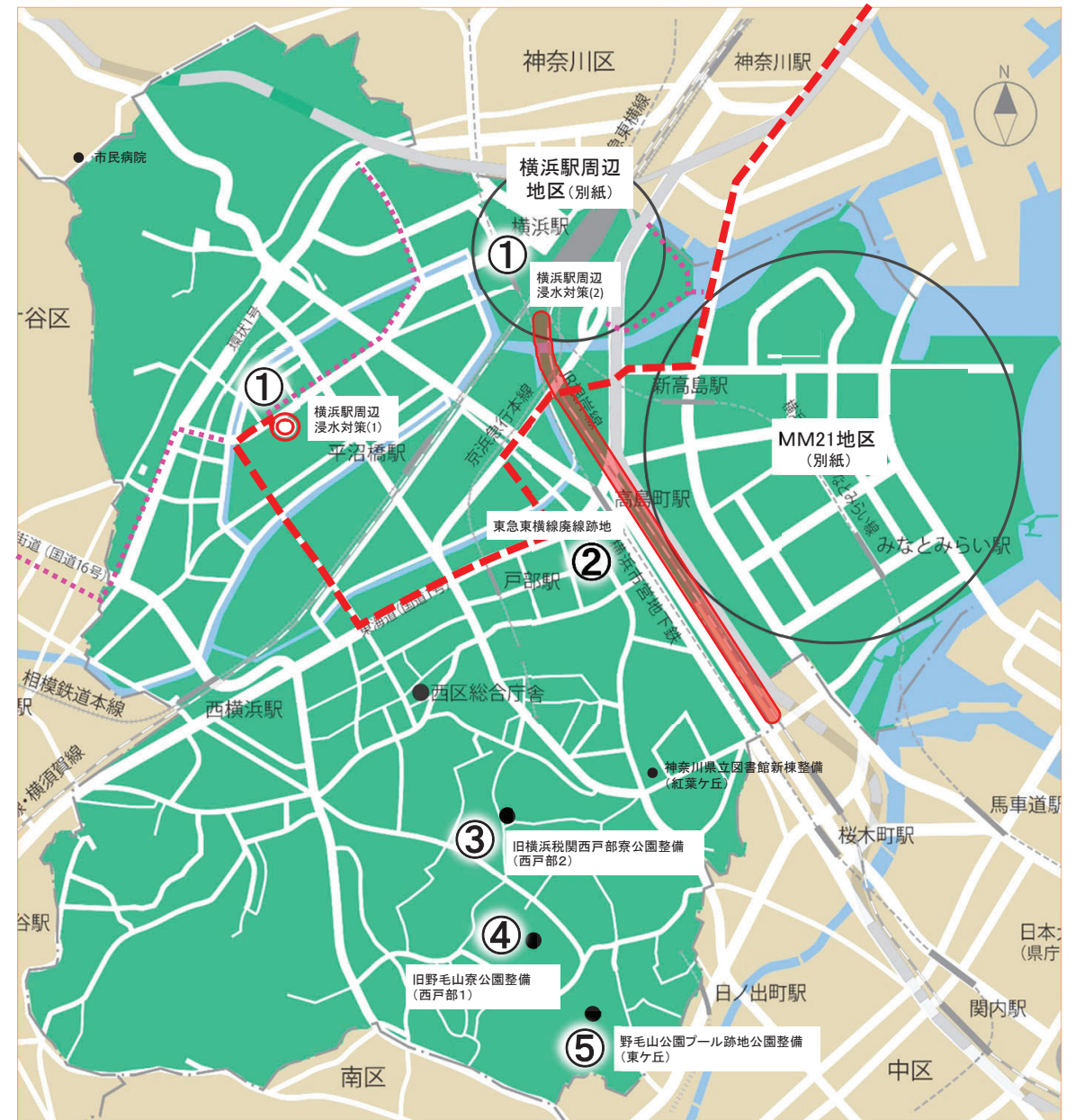
《参考画像》

<p>【A】地区センターでのオンライン窓口実験</p> 	<p>【D】出張先でのデジタルツール活用</p> 
---	---

【参考】西区における開発動向等

地図	概要
①	<p>横浜駅周辺浸水対策</p> <p>(1) 神奈川処理区エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線及び東高島ポンプ場整備事業 横浜駅周辺では10年確率降雨(60mm/1時間)に対する整備を行ってきましたが、さらなる治水安全度の向上に向け、30年確率降雨(74mm/1時間)に対応するため、新たに雨水幹線及びポンプ場の整備を予定しています。 地元の皆様や野球場利用団体と調整を行い、雨水幹線の立坑を岡野公園の野球場の一部に設置することとし、令和3年5月に工事に着手しました。令和12(2030)年度供用開始を予定しています。</p> <p>(2) 横浜駅周辺における下水道管内水位の情報提供 横浜駅西口周辺において、地下街管理者をはじめ来街される市民の皆様等に、主要な地点における下水道管内の水位情報を提供する取組を開始しました。引き続き、水位の閲覧状況を把握し、地下街管理者との意見交換などを進め、効果検証を行っていきます。また、新たに横浜駅東口の2か所のマンホールに水位計を設置し、令和5年5月31日に運用開始します。</p>
②	<p>東急東横線廃線跡地</p> <p>令和元年7月に供用開始した桜木町駅西口広場付近から紅葉坂交差点までの区間については、各種イベントの開催など活用を行っています。引き続き紅葉坂交差点付近から横浜駅方面の整備に向けた検討を行っていきます。 現在、東横跡地全体の基本計画の再検討を行うとともに、令和5年度も、引き続き基本計画の再検討及び構造物の撤去を進めます。 構造物の状況調査により撤去が必要と判断した「浅山橋交差点～高島町交差点付近」の構造物について、令和3年度から撤去工事を行っています。</p>
③	<p>旧横浜税関西戸部寮公園整備 (公園面積 約1,500㎡)</p> <p>環境創造局が国家公務員宿舎跡地を取得し、街区公園として整備を行います。 令和4年度は公園施設の設計を行っており、令和5年度以降、基盤整備や公園施設の工事を行っていきます。(令和6年度供用開始予定)</p>
④	<p>旧野毛山寮公園整備 (公園面積 約1,700㎡)</p> <p>当該地は、一本松まちづくり協議会のエリア及び地震火災対策計画における重点対策地域に含まれ、平成21年度に地域から市長あてに公園整備の要望書が提出されています。都市整備局が国家公務員宿舎跡地を取得し、防災に資する街区公園の整備、取付道路の整備等を行います。令和5年度は、引き続き擁壁の補強や公園施設などの工事を行い、令和5年度中の供用開始を予定しています。</p>
⑤	<p>野毛山公園プール跡地公園整備 (土地面積 約6,200㎡)</p> <p>プールは老朽化のため平成21年に解体され、跡地利用の検討・調整を行っていましたが、隣接する野毛山公園の拡張部として整備を行うことが決定しました。 引き続き、公園計画について検討を行います。</p>

【参考】西区における開発動向等(西区開発動向分布図)



【参考】西区における開発動向等（横浜駅周辺地区）

横浜駅西口

①中央西口駅前広場については、JR横浜タワー前の屋根は令和3年6月に供用開始し、高島屋前屋根は令和5年1月に完成しました。引き続き駅前広場の整備を進めます。

また、神奈川区になりますが、③横浜駅きた西口鶴屋地区では国家戦略特区を活用し、グローバル企業誘致に資する居住機能を有した再開発事業(住宅、ホテル、商業施設等)を進め、令和元(2019)年10月に建築工事に着手しました。

横浜駅東口

横浜中央郵便局及びその周辺地区における民間開発の事業化に向けて、ステーションオアシス協議会(日本郵政(株)、東日本旅客鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、横浜市)で検討を進めており、地盤改良や近接する鉄道への対策工事等による事業費への影響が大きいため、地下の掘削部分を縮小するなど事業採算性のある事業計画の検討を行っています。さらに、関連する基盤施設整備として、民間開発と連携した駅前広場やデッキ等の計画について検討を行っています。

①	中央西口駅前広場 令和元(2019)年7月～ 令和3(2021)年6月 JR横浜タワー前の屋根全体が供用開始 令和5(2023)年1月 横浜高島屋前の屋根完成 引き続き駅前広場の舗装整備等を行っていく予定
②	きた西口駅前広場 令和元(2019)年7月～ 令和3(2021)年4月 エレベーター供用開始 令和5(2023)年度 屋根完成予定 引き続き高欄や植栽、舗装整備等の広場整備を行っていく予定
③	横浜駅きた西口鶴屋地区(再開発ビル) 事業者:横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合 階数・高さ:地上43階/地下2階、約178m 用途:住宅、ホテル、商業施設等 平成29(2017)年度 再開発組合設立 令和元(2019)年度 建築工事着工 令和5(2023)年度 竣工(予定)
④	内海川(うつみがわ)跨線人道橋撤去 平成30(2018)年～令和6(2024)年予定 令和4(2022)年度 鉄道架線支持替や主要な構造部の撤去工事着手 令和5(2023)年度 鋼材や基礎などの撤去工事やPCB処分を実施予定



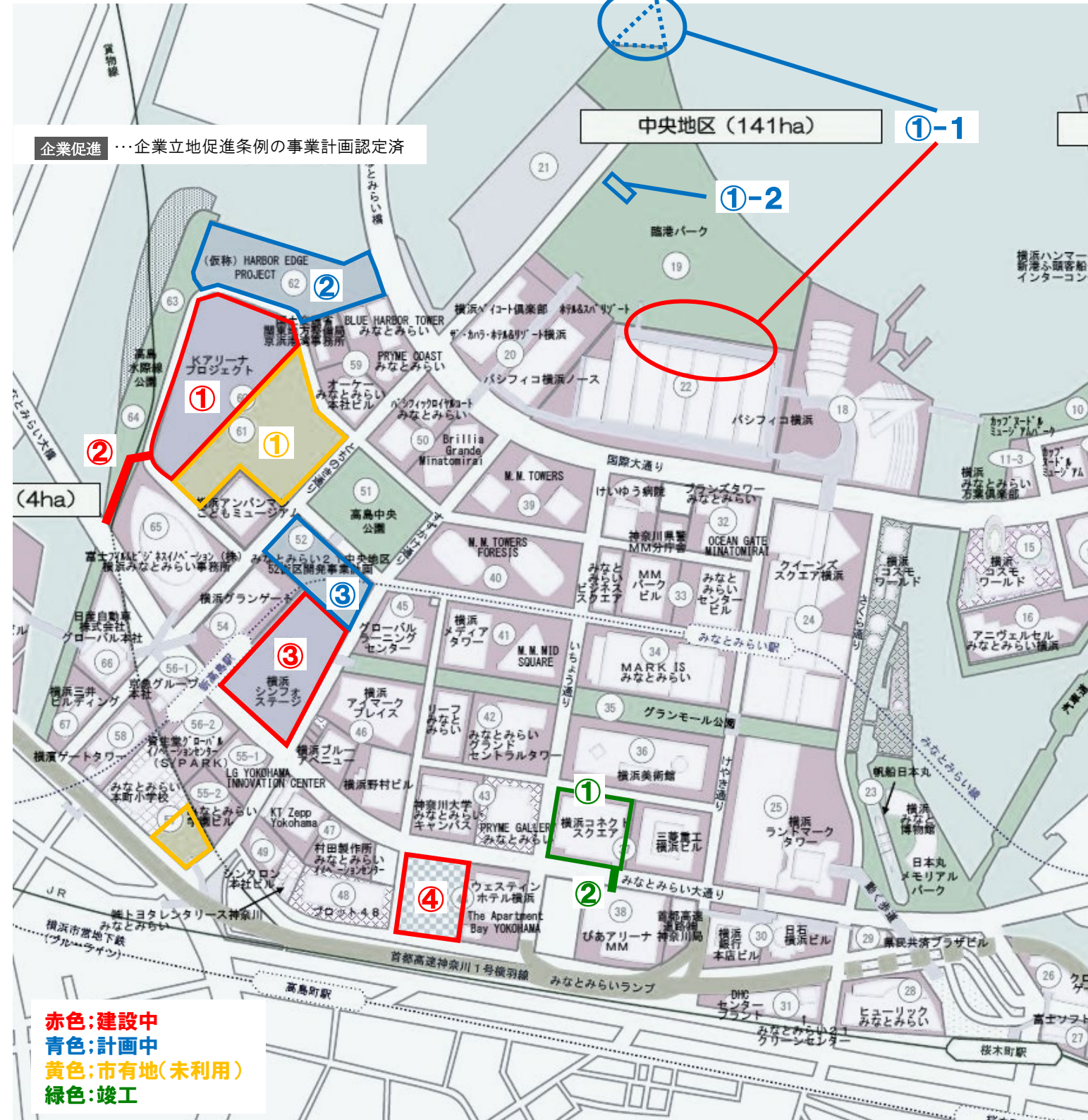
【全体スケジュール】

令和元(2019)年7月	①②中央西口・きた西口駅前広場の整備工事着手
令和元(2019)年10月	③横浜駅きた西口鶴屋地区再開発工事着手
令和元(2019)年12月	西口地下街中央通路接続事業(馬の背解消)新設通路開通
令和2(2020)年3月	JR横浜タワー、JR横浜鶴屋町ビル竣工
令和2(2020)年7月	①中央西口駅前広場 JR横浜タワーアトリウム前屋根工事完了
令和2(2020)年8月	①中央西口駅前広場 横浜モアーズ前屋根工事着手
	JR横浜駅改札内通路整備完了
令和2(2020)年12月	BAYSIDE BLUE 待合室整備完了

令和3(2021)年6月	①中央西口駅前広場 横浜モアーズ前屋根工事完了・JR横浜タワー前屋根供用開始
令和3(2021)年10月	②きた西口駅前広場 屋根工事着手
令和4(2022)年1月	①中央西口駅前広場 横浜高島屋前屋根工事着手
令和5(2023)年1月	①中央西口駅前広場 横浜高島屋前屋根完成
令和5(2023)年度	②きた西口駅前広場 屋根完成(予定)
令和5(2023)年度	③横浜駅きた西口鶴屋地区の竣工(予定)
令和6(2024)年度	④内海川跨線人道橋撤去工事完了(予定)

【参考】西区における開発動向等（みなとみらい21地区）

<p>赤①</p>	<p>60・61の一部：Kアリーナプロジェクト （ミュージックテラス） Kアリーナ横浜／ヒルトン横浜／Kタワー横浜</p> <p style="text-align: right;">企業促進</p> <p>事業主体：株式会社ケン・コーポレーション 規模等/高さ：地上28階/約100m 敷地/延床面積：約31,800㎡/約118,700㎡ 施設：音楽アリーナ（収容人数約2万人）、ホテル、オフィス 竣工：令和5（2023）年7月予定</p>	<p>赤②</p> <p>60・61の一部-みなとみらい大通り： （仮称）高島水際線デッキ整備</p> <p>事業主体：都市整備局 規模等：幅員6.0m、橋長約130m 着工：令和3（2021）年10月 竣工：令和6（2024）年度予定</p>
<p>赤③</p>	<p>53：横浜シンフォステージ（YOKOHAMA SYMPHOSTAGE）</p> <p style="text-align: right;">企業促進</p> <p>事業主体：（仮称）みなとみらい21中央地区53街区 開発事業者共同企業体 規模等/高さ：地上30階/約160m 敷地/延床面積：約20,600㎡/約183,000㎡ 施設：オフィス、店舗、オープンイノベーションスペース、ホテル等 竣工：令和6（2024）年3月予定</p>	<p>赤④</p> <p>44の一部：LIVINGTOWN みなとみらい</p> <p>事業主体：株式会社L T M 規模等/高さ：地上2階 敷地/延床面積：約9,604.62㎡ 施設：事務所、店舗、モデルハウス 駐車場 竣工：令和5（2023）年7月予定 一部開業：令和5（2023）年4月29日 （モデルハウス部分）</p>
<p>青① 1</p>	<p>19の一部：臨港パークの整備</p> <p>【先端部等の整備】 事業主体：港湾局 規模等：約1.5ha 施設：接続デッキ（パシフィコ横浜） 緑地、護岸、 藻場・浅場（人工海浜・岩場）等 竣工：令和7（2025）年春頃 予定</p>	<p>青②</p> <p>62：（仮称）HARBOR EDGE PROJECT</p> <p>事業主体：ベルジャヤ横浜ホスピタリティ アセット特定目的会社 規模等/高さ：地上14階、地下2階/約60m 敷地/延床面積：約22,000㎡/約82,660㎡ 施設：ホテル&ホテルコンドミニウム、 水族館、店舗等 竣工：令和8（2026）年9月予定</p>
<p>青① 2</p>	<p>19の一部：臨港パークの整備</p> <p>【カフェ・ランニングステーションの整備】 事業主体：（代表企業） 株式会社伊佐建設 （構成企業） 株式会社ドラフト スプリングハズカム合同会社 規模等：地上3階 敷地面積：約600㎡ 施設：カフェ、ランニングステーション、 レストラン等 着工：令和5（2023）年度 予定</p>	<p>青③</p> <p>52：みなとみらい21中央地区52街区開発事業計画</p> <p>事業主体：DKみなとみらい52街区特定目的 会社 株式会社光優 株式会社光優 株式会社光優 規模等/高さ：地上29階、地下2階/約180m 敷地/延床面積：約11,800㎡/約115,000㎡ 施設：オフィス、オープンイノベーション スペース、ゲームアートミュージ アム、店舗 竣工：令和8（2026）年6月予定</p>
<p>黄①</p>	<p>60・61 事業予定者公募中</p> <p>敷地面積：約23,100㎡ 処分方法：土地売却または定期借地 登録受付：令和5年4月17日～令和5年10月2日 提案受付：登録完了後～令和5年10月16日 事業予定者決定：令和6年2月予定 建物用途：文化、商業、業務施設等 （住宅等の居住機能は不可）</p>	



緑① 横浜コネクトスクエア 令和5年1月竣工
緑② みなとみらい大通り2号歩道橋（37-38街区間デッキ）令和5年1月供用開始